

飼料穀物備蓄・流通合理化事業 飼料流通合理化対策のうち

飼料輸送効率化等支援事業 実施計画書

1 補助事業者の概要及び事業実施体制等

協議会名／ コンソーシアム名		
事務局（団体・組織名） （所在地） （代表者）		
協議会/コンソーシアム 構成員（団体名）	代表者の所属部署、役職及び氏名	事業内容及び事業に係る役割

2 事業の目的

現状と課題	
事業の実施目的	

事業成果の普及・周知の方法 (該当項目に○、複数可)	ア 事例発表や意見交換のための会議、現地研修会等の開催 イ 取組事例の報告書、パンフレット、マニュアル等の公表 ウ ホームページ、機関誌等への掲載による取組事例等の周知 エ その他の取組 ()
-------------------------------	---

3 令和○年度 事業内容

(1) 検討会等の開催

検討会名／ 普及・周知の取組名	開催時期及び回数	参集範囲	目的及び内容	備考

(2) 輸送効率化等の実証

本事業における取組内容	導入機器・設備等の 規格・型式等	数量 回数	備考
1 ○○における○○の実証 (1) ○○○の取組 ・ (※取組内容を記載) (2) ○○○の取組 ・ ・ 2 ○○における○○の実証 ・ ・			

注1 「取組内容」は、実施する取組内容と導入する物品名等について具体的に記載すること。

注2 機器・設備の導入や設置を行う場合には、その稼働や使用計画について、備考欄に記載すること。

4 成果目標及び目標年度

指標及び成果目標	取組前 (①)	取組後	目標値 (②)	増減率(%) (②/①-1)×100
	令和〇年度 (基準年度)	令和〇年度 (実施年度)	令和〇年度 (目標年度)	
【効率化等に関する目標】 (指標例) ・一定期間(月・週)における輸送の回数、距離、時間 ・一定期間(月・週)における飼料タンクへの昇降回数、作業時間 (目標記載例) ・〇〇〇を〇%削減する。 (努力目標) 【温室効果ガス削減に関する目標】 ・温室効果ガス排出量を〇%削減する。				

注1 「取組前」の値については、設定した指標について、直近の年度の値又は複数年度の平均値を用いること。

注2 「目標値」の値については、設定した指標について、取組前と比較し10%以上の削減を目標値とすること。

5 事業費(積算)

事業内容	費目	細目	内容 (経費名・物品名等)	単価	事業費 (税込)	備考	
						国庫補助金	自己負担等 (税込)
(1) 検討会等の開催				円	円	円	円
小計					円	円	円
(2) 輸送効率化等の 実証				円			

小 計					円	円	円	
合 計					円	円	円	

注1 自己負担で実施する場合においても、事業費を積算し、記載すること。

注2 「費目」及び「細目」は、実施要領の別表の補助対象経費から該当するものを記載すること。

注3 添付する「単価」の根拠書類・証拠書類には、購入物品との突合をつけるため資料番号を付し、その資料番号を当該購入物品の備考に記載すること。

6 過去の取組実績（飼料輸送効率化等支援事業）

年 度	事業名、目的及び取組内容	事業の目標年度	備考
令和○年度			
令和○年度			
令和○年度			

7 配合飼料価格安定制度の加入状況確認

配合飼料価格安定制度の加入状況の確認を行った場合はチェック✓を入れる。

☐

8 添付書類

添付資料	応募時	交付申請時	変更等承認申請時	実績報告時
①協議会またはコンソーシアムの構成員名簿、定款・規約等		※	※	※
②「単価」の根拠書類（参考見積書）・証拠書類（見積書、納品書、請求書等）				

飼料穀物備蓄・流通合理化事業 飼料流通合理化対策のうち

粗飼料広域流通体制確立事業 実施計画書

1 補助事業者の概要

名 称	
所在地	
代表者	

2 事業の目的

現状と課題	
事業の実施目的	
事業成果の普及・周知の方法 (該当項目に○、複数可)	ア 事例発表や意見交換のための会議、現地研修会等の開催 イ 取組事例の報告書、パンフレット、マニュアル等の公表 ウ ホームページ、機関誌等への掲載による取組事例等の周知 エ その他の取組 ()

3 令和○年度 事業内容

(1) 検討会等の開催

検討会名／ 普及・周知の取組名	開催時期及び回数	参集範囲	目的及び内容	備 考

(2) 広域流通体制確立の実証

本事業で実施する取組内容	回数・数量	備考

注1 「取組内容」は、実施する取組内容と輸送に関する回数、ルート、車両などを具体的に記載すること。

注2 機器・設備の導入や設置を行う場合には、その稼働や使用計画について、備考欄に記載すること。

4 成果目標及び目標年度

指標及び成果目標	取組前 (①)	取組後	目標値 (②)	増加量又は 増加ポイント (②－①)
	令和○年度 (基準年度)	令和○年度 (実施年度)	令和○年度 (目標年度)	
【実証にかかる国産粗飼料取扱数量】 ・事業実施前と比較し、本事業における○○の国産粗飼料の取扱数量を増加させる。				

【〇〇における国産粗飼料の利用割合】 ・事業実施前と比較し、本事業における〇〇の国産粗飼料の利用割合を10ポイント以上増加させる。 利用割合＝（国産粗飼料使用数量）／（〇〇における総粗飼料使用量）×100で算出。目標年度と基準年度を比較する。				
--	--	--	--	--

注1 「成果目標」の欄の「国産粗飼料の利用」は、粗飼料を利用する畜産農家や販売する小売業者等における数量について把握することとし、〇〇にはその範囲を記載する。

注2 「取組前」の値については、設定した指標について、直近の年度の値又は複数年度の平均値を用いること。

5 事業費（積算）

事業内容	費目	細目	内容 （経費名・物品名等）	単価	事業費 （税込）	事業費の内訳		備 考
						国庫補助金	自己負担等 （税込）	
(1) 検討会等の開催				円	円	円	円	
小 計					円	円	円	
(2) 広域流通体制確立の実証				円				
小 計					円	円	円	
合 計					円	円	円	

注1 自己負担で実施する場合においても、事業費を積算し、記載すること。

注2 「費目」及び「細目」は、実施要領の別表の補助対象経費から該当するものを記載すること。

注3 添付する「単価」の根拠書類・証拠書類には、購入物品との突合をつけるため資料番号を付し、その資料番号を当該購入物品の備考に記載すること。

6 過去の取組実績（粗飼料広域流通体制確立事業）

年 度	事業名、目的及び取組内容	事業の目標年度	備考
令和〇年度			
令和〇年度			
令和〇年度			

7 配合飼料価格安定制度の加入状況確認

配合飼料価格安定制度の加入状況の確認を行った場合はチェック✓を入れる。

☐

8 添付書類

添付資料	応募時	交付申請時	変更等承認 申請時	実績 報告時
①（協議会の場合は）協議会構成員名簿、定款・規約等		※	※	※
②「単価」の根拠書類（参考見積書）・証拠書類（見積書、納品書、請求書 等）				
③事業成果の公表資料等（2の普及・周知に用いたいいずれかの資料）				
④その他畜産局長が必要と認める資料 （ ）				

注1 提出書類にチェック✓を入れること。

注2 ※は内容に変更等があった場合は提出すること。